

# 画 題 「船」

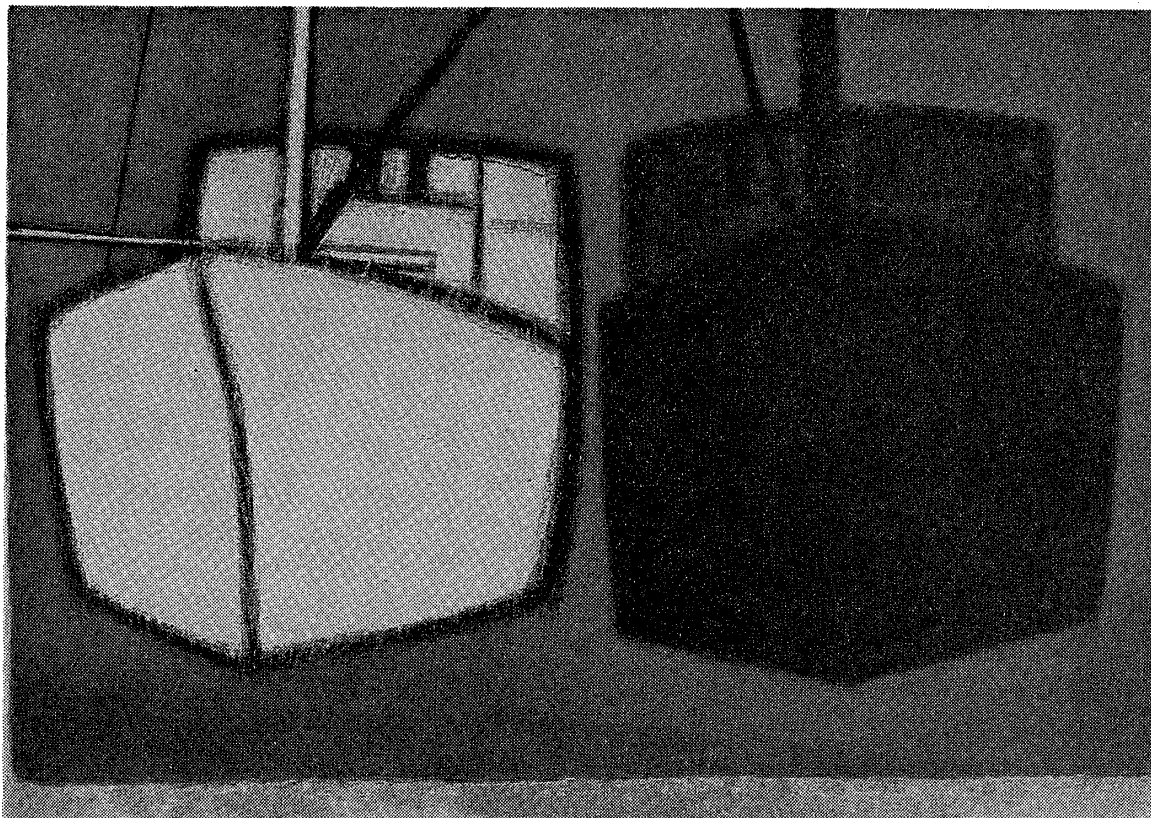
“Ship”

小 野 一 郎

今、船に惹かれています。それもスマートな客船ではなく、潮風にたたかれ、波濤をくぐり抜けて来た、錆ついた船体に…。 第4回九月会展出品。 小野 一郎

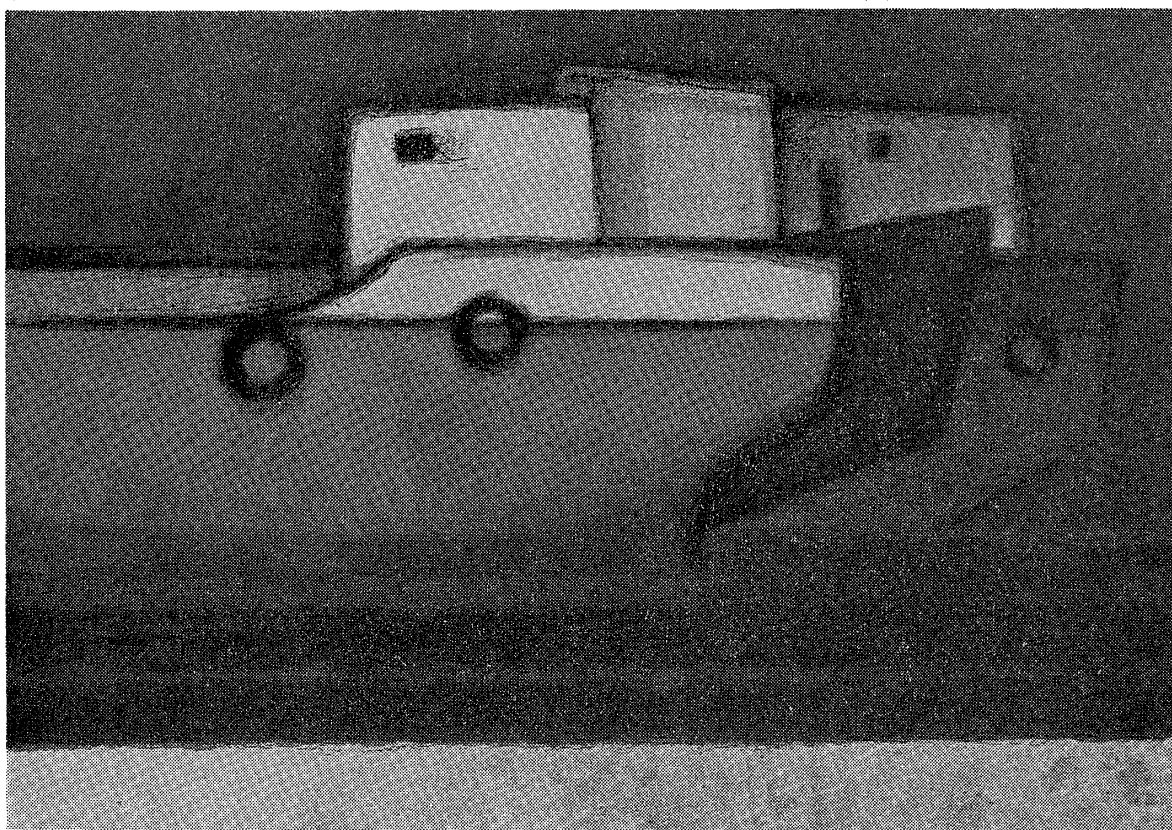
小野一郎の「船」は、構成にこだわりすぎるのではな

いだろうか。作家は割切った端的を求めるが、その間でも「船」2では、一杯にふくれる船体がふておてしい力をあらわした。まだこれからの探求だろうが、小さなまとまりではなく、熱をおびて強く進みたいものである。 (九月会展を見て 田近憲三 萌春 215号)





第4回九月会展 船 2



第4回九月会展 船 3